

キャタピラー

適用範囲		モデル名	D3		
		仕様	STD		
		適用号機	XKW00001~		
区分	検査箇所	検査項目(条件)	単位	検査基準値	
エンジン	エンジン本体 【電子制御式】	エンジン回転速度			
		ハイアイドル回転	min <sup>-1</sup>	2100	
		ローアイドル回転	min <sup>-1</sup>	950	
		トルコンストール状態 (冷却水温)	min <sup>-1</sup> (°C)	— (70~80)	
		(作動油温)	(°C)	(80~90)	
	エンジン油圧	kgf/cm <sup>2</sup> KPa	375~ (60~70)		
	(油温)	(°C)	(1800-2400)		
	(回転速度)	(min <sup>-1</sup> )			
	弁すき間				
	吸気弁 隙間	mm	0		
排気弁 隙間	mm	0			
(測定条件)		(冷間時)			
圧縮圧力又は 気筒間圧縮圧力差 (冷却水温)	kgf/cm <sup>2</sup> KPa	350 (—)			
(回転速度)	(min <sup>-1</sup> )	(—)			
燃料装置	噴射ノズルの燃料噴射開始圧力	kgf/cm <sup>2</sup>	設定なし		
		KPa	(コモンレール)		
冷却装置	ファン駆動ベルトの張り	mm	設定なし		
	[測定位置・条件]		(自動張り調整)		
	[kgとNの両方で表記]	[N]			
動力伝達装置	クラッチペダル又はインチングペダル	ペダルの遊び取り付け高さ	c m		
		ペダルの遊びとストローク	c m	—	
		ペダルの全ストローク	c m		
	走行ミックス油圧	主クラッチ型	ブースタ油圧	MPa	—
		ダイレクトシフト型	ミッション潤滑油圧	kg/cm <sup>2</sup> KPa	—
		流体継ぎ手型	トルコン油圧	kg/cm <sup>2</sup> KPa	—
			ミッション潤滑油圧	kg/cm <sup>2</sup> KPa	—
			クラッチ油圧	kg/cm <sup>2</sup> KPa	—
			(ミッション油温)	(°C)	—
			(エンジン回転速度)	(min <sup>-1</sup> )	—
プロベラーシャフト	ボルト締付けトルク	N・m kg・m	—		
ステアリング装置	レバー	レバー遊びのストローク	c m	—	
		レバーの全ストローク	c m	—	
	ステアリングクラッチ油圧	MPa	—		
	(油温)	kg/cm <sup>2</sup> (°C)	—		
	(回転速度)	(r p m)			

キャタピラー

適用範囲		モデル名	D3			
		仕様	STD			
		適用号機	XKW00001~			
区分	検査箇所	検査項目(条件)	単位	検査基準値		
走行装置	クローラベルト	ベ ル ト	張り(たわみ量)	mm	—	
			測定方法・条件 (図面番号表示)			
		鉄 シ ユ ー	張り(たわみ量)	mm	図1参照	
			リンクピッチの伸び 測定方法・条件 (図面番号表示)	mm	—	
制動装置	駐車ブレーキ	停止状態保持性能	床面勾配	1/5以上		
	走行ブレーキ	制御能力		—		
作業装置	シリンダー自然伸縮	ブルドーザー	ブレードリフトシリンダー 作業装置姿勢 (図面番号表示)	mm/分	17mm/5分 地面から254mm	
			ブレードチルトシリンダー 作業装置姿勢 (図面番号表示)	mm/分	33mm/5分 チルト左一杯	
			リッパースタックシリンダー 作業装置姿勢 (図面番号表示)	mm/分	6mm/5分 地面から254mm	
			リッパースタックシリンダー 作業装置姿勢 (図面番号表示)	mm/分	—	
			ドローザ・ショベル	リフトアームシリンダー 作業装置姿勢 (図面番号表示)	mm/分	—
	作業機速度	ブルドーザー	(作動油温)	(°C)	—	
			リフトアームシリンダー 作業装置姿勢 (図面番号表示)	秒	2.2±0.3秒 地面~最大	
			リフトアームシリンダー 作業装置姿勢 (図面番号表示)	秒	1.3±0.2秒 地面~最大	
			ドローザ・ショベル	リフトアームシリンダー 作業装置姿勢 (図面番号表示)	秒	—
油圧装置	油圧回路設定圧力	主回路設定圧力	kg/cm <sup>2</sup> MPa	20.6±0.9 (38~65)		
備考						

★印：新車基準値を表す。

項目	測定方法
<p>図 1. 履帯調整方法</p>	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 車両をその全長の2倍の距離動かし、ブレーキを使用せずに惰力走行で停止させる。</li> <li>2. バルブ・カバーを取外す。（図は開けた状態）</li> <li>3. トラックを張る場合、手動グリース・ガンでトラック調整バルブ（1）からマルチパーパス・グリース（MPGM）を充填する。</li> </ol> <p>トラックを緩める場合、リリーフ・バルブ（2）を反時計方向に回す。 次に、トラック調整バルブ（1）を1回転させて開けて、グリースを逃がす。 その後、リリーフ・バルブ（2）を閉めてください。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>5. バルブ・カバーを閉じる。</li> <li>6. 反対側の履帯に同様の作業を行う。</li> </ol> <div data-bbox="353 483 728 726" style="text-align: center;"> </div>